



IM and Presence サービスの設定

- ・ [オンプレミス展開用の IM and Presence サービスの設定, 1 ページ](#)
- ・ [クラウドベース展開用の IM and Presence サービスの設定, 9 ページ](#)

オンプレミス展開用の IM and Presence サービスの設定

Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用したオンプレミス展開に関する IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	連絡先リストの一括事前入力, (2 ページ)	
ステップ 2	メッセージの設定の有効化, (2 ページ)	
ステップ 3	IM and Presence サービスの追加, (4 ページ)	
ステップ 4	IM and Presence サービスの適用, (5 ページ)	
ステップ 5	Microsoft SharePoint 2010 および 2013 でのプレゼンスの設定, (6 ページ)	
ステップ 6	ユーザの設定を行う, (7 ページ)	

Cisco Unified Communications Manager リリース 8.6 を使用したオンプレミス展開に関する IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	連絡先リストの一括事前入力, (2 ページ)	
ステップ 2	メッセージの設定の有効化, (2 ページ)	
ステップ 3	機能割り当ての指定, (3 ページ)	
ステップ 4	Microsoft SharePoint 2010 および 2013 でのプレゼンスの設定, (6 ページ)	

連絡先リストの一括事前入力

一括管理ツール (BAT) を使用してユーザの連絡先リストを事前に入力することもできます。

これにより、ユーザの連絡先リストを事前に入力して、クライアントの最初の起動後にユーザが連絡先のセットを自動的に入手できるようにします。

Cisco Jabber はクライアント連絡先リストで最大 300 件の連絡先をサポートします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユーザに提供する連絡先リストを定義した CSV ファイルを作成します。	
ステップ 2	BAT を使用して一連のユーザに連絡先リストを一括でインポートします。	BAT の使用方法と CSV ファイルの形式については、ご使用のリリースの『 <i>Deployment Guide for Cisco Unified Presence</i> 』を参照してください。

メッセージの設定の有効化

インスタント メッセージング機能を有効にし、設定します。

はじめる前に

[連絡先リストの一括事前入力, \(2 ページ\)](#) .

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [メッセージング (Messaging)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。
- ステップ 3** 次のオプションを選択します。
- インスタント メッセージを有効にする (Enable instant messaging)
 - クライアントでのインスタント メッセージ履歴のログ記録を可能にする (Allow clients to log instant message history)
- ステップ 4** 他のメッセージング設定も適切に選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。
- 重要** Cisco Jabber は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス リリース 9.0.x の [プレゼンスの設定 (Presence Settings)] ウィンドウで次の設定をサポートしません。
- ユーザの通話中に DND ステータスを使用する (Use DND status when user is on the phone)
 - ユーザがミーティングに参加しているときに DND ステータスを使用する (Use DND status when user is in a meeting)
-

次の作業

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence サービス リリース 9.x 以降を使用している場合は、[IM and Presence サービスの追加, \(4 ページ\)](#) 。
- Cisco Unified Presence リリース 8.6 を使用している場合は、[機能割り当ての指定, \(3 ページ\)](#) 。

機能割り当ての指定

Cisco Unified Presence を使用する場合に、ユーザにインスタント メッセージ機能とプレゼンス機能を提供するには、このタスクで次の手順を実行します。

はじめる前に

[メッセージの設定の有効化, \(2 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [機能割り当て (Capabilities Assignment)] の順に選択します。
[機能割り当ての検索と一覧表示 (Find and List Capabilities Assignments)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** [機能割り当てを次の条件で検索 (Find Capabilities Assignment where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してユーザの一覧を取得します。
- ステップ 4** 対象のユーザをリストから選択します。
[機能割り当ての設定 (Capabilities Assignment Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 5** [機能割り当ての設定 (Capabilities Assignment Configuration)] セクションで次の両方を選択します。
- CUP を有効にする (Enable CUP)
 - CUPC を有効にする (Enable CUP)
- ステップ 6** [保存 (Save)] を選択します。
-

IM and Presence サービスの追加

IM and Presence サービス機能をユーザに提供します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [UC サービス (UC Service)] を選択します。
[UC サービスの検索と一覧表示 (Find and List UC Services)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** [新規追加 (Add New)] を選択します。
[UC サービスの設定 (UC Service Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** [UC サービスの追加 (Add a UC Service)] セクションで、[UC サービスタイプ (UC Service Type)] ドロップダウンリストから [IM および Presence (IM and Presence)] を選択します。
- ステップ 5** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 6** 次のように IM and Presence サービスの詳細を入力します。
- a) [製品のタイプ (Product Type)] ドロップダウンリストから [Unified CM (IM および Presence) (Unified CM (IM and Presence))] を選択します。
 - b) [名前 (Name)] フィールドにサービスの名前を入力します。

入力した名前は、プロファイルにサービスを追加する際に表示されます。 入力する名前は必ず、一意的でわかりやすく、かつ意味が通じるものにしてください。

- c) 必要であれば、[説明 (Description)] フィールドに説明を入力します。
- d) [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、インスタントメッセージ/プレゼンス サービスのアドレスを入力します。
重要 サービスのアドレスは完全修飾ドメイン名または IP アドレスである必要があります。

ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。

IM and Presence サービスの適用

Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence サービスを追加したら、クライアントが設定を取得できるようにそのサービスをサービス プロファイルに適用する必要があります。

はじめる前に

[IM and Presence サービスの追加, \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
 - ステップ 2** [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [サービスプロファイル (Service Profile)] の順に選択します。
[サービスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Service Profiles)] ウィンドウが開きます。
 - ステップ 3** 目的のサービス プロファイルを検索し、それを選択します。
[サービス プロファイルの設定 (Service Profile Configuration)] ウィンドウが開きます。
 - ステップ 4** [IM/プレゼンスプロファイル (IM and Presence Profile)] セクションで、次のドロップダウンリストから、サービスを最大 3 つ選択します。
 - プライマリ (Primary)
 - セカンダリ (Secondary)
 - ターシャリ (Tertiary)
 - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 6** ユーザをサービス プロファイルに追加します。
 - a) [ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ダイアログボックスが開きます。
 - b) [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザを検索します。

- c) リスト内のユーザをクリックします。
[エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- d) [サービスの設定 (Service Settings)] 領域で [ホーム クラスタ (Home Cluster)] チェックボックスをオンにします。
- e) [Unified CM IM and Presence のユーザを有効化 (関連付けられている UC サービス プロファイルで IM and Presence を設定) (Enable User for Unified CM IM and Presence (Configure IM and Presence in the associated UC Service Profile))] チェックボックスをオンにします。
- f) [UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウン リストからサービス プロファイルを選択します。

ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

Microsoft SharePoint 2010 および 2013 でのプレゼンスの設定

IM アドレスがメール アドレスと異なる状況で組織がユーザのプロファイルを定義する場合は、クライアントと Microsoft SharePoint 2010 および 2013 の間でプレゼンス統合を有効にする追加設定が必要になります。

はじめる前に

- Cisco Jabber for Windows クライアント専用。
- すべてのサイトが Microsoft SharePoint Central Administration (CA) と同期していることを確認します。
- Microsoft SharePoint と Active Directory 間の同期がセットアップされていることを確認します。

手順

- ステップ 1** Microsoft SharePoint 2013 を使用している場合は、次の情報でユーザの SharePoint CA プロファイル ページを更新します。
- a) [SIPアドレス (SIP Address)] プロファイル フィールドを空白のままにします。
 - b) [勤務先電子メール (Work email)] プロファイル フィールドに、ユーザ プロファイルを入力します。たとえば、john4mail@example.pst と入力します。
- ステップ 2** Microsoft SharePoint 2010 を使用している場合は、次の情報でユーザの SharePoint CA プロファイル ページを更新します。
- a) [SIPアドレス (SIP Address)] プロファイル フィールドに、ユーザ プロファイルを入力します。たとえば、john4mail@example.pst と入力します。
 - b) [勤務先電子メール (Work email)] プロファイル フィールドを空白のままにします。
-

ユーザの設定を行う

ユーザの設定を行う場合は、インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にし、サービスプロフィールをユーザに追加します。

はじめる前に

[Microsoft SharePoint 2010 および 2013 でのプレゼンスの設定, \(6 ページ\)](#)

ユーザの設定を個別に行う

インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にし、個々のユーザにサービスプロフィールを追加します。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
 - ステップ 2 [ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが開きます。
 - ステップ 3 [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得します。
 - ステップ 4 対象のユーザ名をリストから選択します。
[エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 5 [サービスの設定 (Service Settings)] セクションに移動し、以下の操作を行います。
 - a) [ユーザに対して Unified CM IM and Presence を有効にする (Enable User for Unified CU IM and Presence)] を選択します。
 - b) [UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウン リストからサービス プロファイルを選択します。

重要 Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x のみ：ユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンスの機能しか使用していない (IM 専用) 場合は、[デフォルトの使用 (Use Default)] を選択する必要があります。Cisco Unified Communications Manager リリース バージョン 9.x は、[UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウン リストから選択された項目に関係なく、常に、デフォルト サービス プロファイルを適用します。
 - ステップ 6 [保存 (Save)] を選択します。
-

複数ユーザの設定を一括で行う

インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にし、複数のユーザにサービスプロファイルを追加します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの更新 (Update Users)] > [クエリー (Query)] を選択します。
[更新するユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users To Update)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得します。
- ステップ 4** [次へ (Next)] を選択します。
[ユーザの更新 (Update Users Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 5** 2 つある [ユーザに対して Unified CM IM and Presence を有効にする (Enable User for Unified CU IM and Presence)] チェックボックスをどちらもオンにします。
重要 [ユーザに対して Unified CM IM and Presence を有効にする (Enable User for Unified CU IM and Presence)] チェックボックスは 2 つあります。インスタントメッセージおよびプレゼンスを無効にする場合は、いずれか一方のチェックボックスを選択します。インスタントメッセージおよびプレゼンスを有効にする場合は、両方のチェックボックスを選択します。
- ステップ 6** [UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] チェックボックスをオンにし、そのドロップダウン リストからサービス プロファイルを選択します。
重要 Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x のみ：ユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンスの機能しか使用していない (IM 専用) 場合は、[デフォルトの使用 (Use Default)] を選択する必要があります。
IM 専用ユーザの場合：Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x は、[UC サービス プロファイル (UC Service Profile)] ドロップダウン リストで選択された項目に関係なく、常に、デフォルト サービス プロファイルを適用します。
- ステップ 7** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、ジョブをただちに実行するか後で実行するかを指定します。
- ステップ 8** [送信 (Submit)] を選択します。
-

クラウドベース展開用の IM and Presence サービスの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	IM and Presence サービスの設定, (9 ページ)	
ステップ 2	Microsoft SharePoint 2010 および 2013 でのプレゼンスの設定	
ステップ 3	プライバシー オプションの設定, (9 ページ)	

IM and Presence サービスの設定

ユーザが Cisco WebEx Messenger サービスによって認証されると、IM and Presence サービス機能が提供されます。オプションで、Cisco WebEx 管理ツールを使用して、IM and Presence サービスフェデレーションを設定できます。

プライバシー オプションの設定

クラウドベースの展開では、プレゼンス サブスクリプション要求のデフォルト設定を指定できます。

手順

- ステップ 1 Cisco WebEx 管理ツールを開きます。
- ステップ 2 [設定 (Configuration)] タブを選択します。
- ステップ 3 [クライアントの接続 (Connect Client)] セクションで、[一般 IM (General IM)] を選択します。[一般 IM (General IM)] ペインが開きます。
- ステップ 4 次のように、連絡先リストで適切なオプションを選択します。

オプション	説明
[ユーザによる「連絡先リスト要求のオプション」設定を許可する (Allow users to set "Options for contact list requests")] を選択する	クライアントがプレゼンスサブスクリプション要求をどのように処理するか設定するためのデフォルト オプションとして、[社内の連絡先からの要求を自動的に許可する (Accept requests automatically from contacts in my organization)] が自動的に設定されます。ユーザは、[オプション (Options)] ウィンドウでデフォルト オプションを変更できます。

オプション	説明
[ユーザによる「連絡先リスト要求のオプション」設定を許可する (Allow users to set "Options for contact list requests")] を選択しない	<p>クライアントがプレゼンス サブスクリプション要求を処理する方法を設定します。ユーザは設定を変更できません。これらの設定は、[オプション (Options)] ウィンドウで使用できません。</p> <p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての連絡先からの要求を自動的に許可する (Accept requests automatically from all contacts) • 社内の連絡先からの要求を自動的に許可する (Accept requests automatically from contacts in my organization) • 要求ごとに通知する (Prompt me for each request)

連絡先リスト要求をクライアントがどのように処理するか設定するためのオプションを以下に示します。

- すべての連絡先からの要求を自動的に許可する (Accept requests automatically from all contacts) : クライアントは、自動的に、すべてのドメインからのプレゼンス サブスクリプション要求を受け入れます。この設定を指定した場合、すべてのドメインのユーザは、ユーザを連絡先リストに自動的に追加すること、および在席ステータスを表示することができます。
- 社内の連絡先からの要求を自動的に許可する (Accept requests automatically from contacts in my organization) : クライアントは、自動的に、指定したドメイン内のユーザからのプレゼンス サブスクリプション要求を受け入れます。ドメインを指定するには、[設定 (Configuration)] タブの [システム設定 (System Settings)] セクションで [ドメイン (Domain(s))] を選択します。

(注) 組織内で連絡先を検索する際は、組織内のすべてのユーザの一時的な在席ステータスが表示されます。しかし、ユーザ A がユーザ B をブロックした場合、ユーザ B には、検索一覧内のユーザ A の一時的な在席ステータスは表示されません。
- 要求ごとに通知する (Prompt me for each request) : クライアントは、プレゼンス サブスクリプション要求ごとに受け入れるかどうかをユーザに尋ねます。

ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。